

青牛式トレードマスター講座

フォームトレーニングからリアルトレード移行時のポイント



フォームトレーニングに膨大な時間を費やし、意気揚々とリアルトレードに移行したはいいものの、思うような立ち回りや結果を残すことができない。

今回は、そのフェーズにいるメンバーに向けたコンテンツをお届けします。

フォームトレーニングからリアルトレードに移行した際に感じる違和感は、大きく分けて次の3点でしょう。

青牛式トレードマスター講座

- 1 時間経過が遅く感じる
- 2 実資金のため損失を負いたくないというプレッシャー
- 3 上手く立ち回ろうとし過ぎて決断できない・決断が遅れる

これらについて、私自身の経験も踏まえてどのように実戦経験を養っていくのか解説していきます。

1 時間経過が遅く感じる

フォームトレーニングでは、基本的にエントリー、利確、損切り以外はある程度の速度で検証ツールを回しているため、リアルトレードに移行した時はその中でも特に「利確ポイントまでのポジション保有時間」が非常に遅く感じるでしょう。

これについては、正直なところリアルトレード自体の時間経過に「慣れる」以外に他ありません。

青牛式トレードマスター講座

むしろ、これまでのフォームトレーニング自体が精神と時の部屋にいることと同じなわけで、現実世界の時間の流れとは乖離したトレーニングを行っていたことを理解する必要があります。

具体的な行動対策としては、「**執行時間足以上しか監視しない**」という方法がオススメ。

私自身は、ポジション保有してからデイトラウドとスイングだろと1分足まで常に見ていますが、フォームトレーニングからリアルトレードに移行して間もない場合には、**当初のシナリオを忠実に完遂することが大切**なので、判断がブレる要素は可能な限り排除するようにしましょう。

また、「シナリオ作成時点での利確ポイントまで保有できない」という人は分割決済を積極的に活用し、早期利確したくなった場合、「保有ポジションのうち1/4～2/4を決済する」ことで心理負担をかなり軽減することができますし、何より「シナリオを完遂する」習慣を身につけることができますから、ぜひ取り入れてみてください。

青牛式トレードマスター講座

2 実資金のため損失を負いたくないというプレッシャー

もうこれはどう足掻いても避けられない問題ですし、トレードをやる以上は一生向き合っていかななくてははいけません。

ありきたりな見解にはなりますが、**ある程度慣れてくるまではポジションサイズを小さくして取り組んでいく**のが最も有効です。

そして、損失になったとしても自暴自棄にならず、トレードジャーナルを通して客観的事実として今後に繋げる評価・検証をしていきましょう。

小さくてもいいからコツコツと利益を積み上げていき、メンタルに余裕が生まれてきた時にポジションサイズを少しずつ大きくしていきましょう。



青牛式トレードマスター講座

3 上手く立ち回ろうとし過ぎて決断できない・決断が遅れる

フォームトレーニングの固定期間では、一定のパフォーマンスを発揮できるようになり、自身のトレーディングスキルにも少なからず自信を感じるようになっていっているでしょう。

だからこそ、リアルトレードにおいても「同じように」上手く立ち回りたいという思考になって当然。

そして、その思考の偏りは全然悪いことではありません。

成功体験を積み重ねて自信を築いていくわけですから、どんなに小さくても失敗したくないという感情は自然なものです。

最も大切なことは、**フォームトレーニングをやり遂げた自分を信じ、失敗は成功への燃料だと解釈しチャレンジ精神を持ち続けること。**

私自身、今でも失敗の連続です。

青牛式トレードマスター講座

全てを完璧にできることの方が圧倒的に少ないのが当たり前ですから、思ったようにできなくでも決して自分を責めてはいけません。

これまで何度も言ってきたように、そんな簡単にできるのならみんなが億万長者ですし、巷に流通しているツールですら勝ち続けられることをあなた自身が認めていることになります。

高等数学者達でさえ打ちのめされる相場の世界に、あなたは自らの手で磨き上げた1本の刀を持ち戦おうとしているのです。

焦りは禁物。

トレードとは、上手さを競うものではなく、数字を積み上げるゲームです。

泥臭いエントリーにメチャクチャな利確でも、結果として利殖できていればそれが正義という世界ですから、まずは利殖することに徹底的にフォーカスしましょう。

青牛式トレードマスター講座



ここからは、より具体的なポイントについて解説していきます。

フォームトレーニングを通して型を身につけたのであれば、リアルトレードにおいても執行時間足のセットアップを見誤るということはほとんどないはず。（そもそも確信が持てないのであれば手を出さない）

では、こういった理由によって「ミス」が起こるのかというと、それは「ミクロセットアップの見極めとエントリーに関連する行動」だと考えています。

青牛式トレードマスター講座

つまり、執行時間足（ミドルセットアップと仮定）でのセットアップを確認し、具体的なエントリータイミングをマイクロセットアップで図る際、

ストップ位置 ポジションサイズ 分割エントリーの判断

機会損失のストレス ミクロセットアップ自体の確度

等々によって誤った判断、不適切な行動に繋がるということが最も大きな原因でしょう。

このマイクロセットアップの詳しい立ち回り等については、他のコンテンツで触れているため割愛しますが、このコンテンツを通してしっかりと理解して欲しいことは、

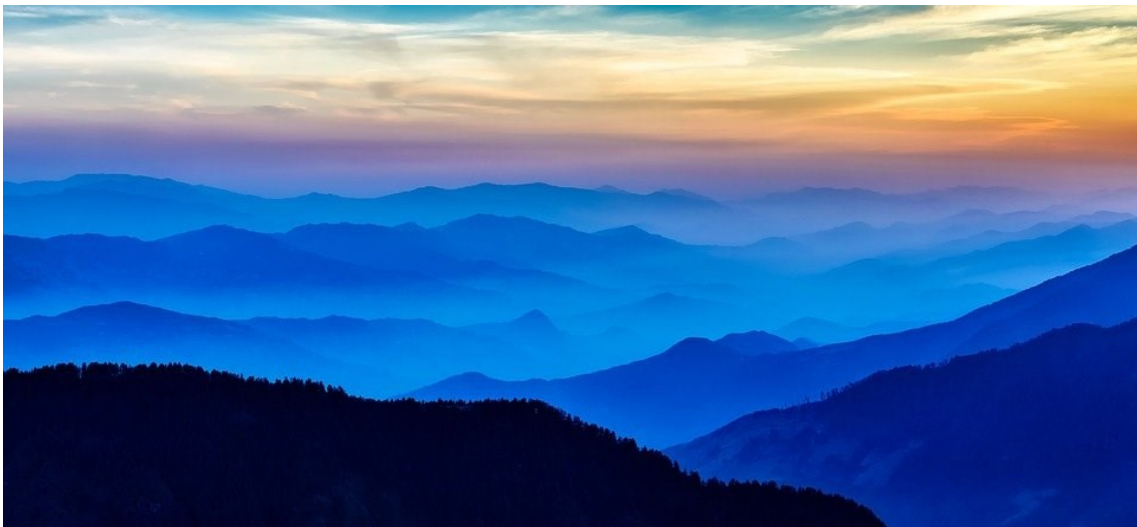
「トレード一連の工程において、マイクロセットアップでの立ち回りが最もミスに繋がりやすい」

ということ。

青牛式トレードマスター講座

直接的なミスの原因は、大前提となる環境認識の見誤りか具体的なエントリータイミングの2つのポイントで発生します。

このことをしっかりと肝に銘じてトレード戦略を練ることによって、相場と向き合うスタンスが大きく改善されるでしょう。



リアルトレードに移行したはいいものの、思うように結果が出ないからといってすぐにフォームトレーニングに戻るのは適切な判断とは言えません。

青牛式トレードマスター講座

なぜなら、フォームトレーニングをやり切ったからこそリアルトレードに移行する決断をしたのですから、ここからはリアルトレードの世界で結果を出すために格闘するフェーズだという強い決意を固めましょう。

そもそも相場とは常に変化していくものであり、ということはあなた自身も一貫した軸を持った上で相場環境にフィットするように常に調整していく必要があるのです。

フォームトレーニングをやり切った自分を信じて、リアルトレードの世界で生き抜いていきましょう。

あをうし